

令和6年度 後期教育アンケート結果のご報告

後期教育アンケートにご協力いただきありがとうございました。それらの結果を報告させていただきます。回答総数は270件でたくさんの保護者の方にご協力いただきました。成果が感じられる後期のよかったです項目と、前期と比べて改善すべき項目について重点的に報告させていただきます。最終ページには全てのアンケート結果を掲載しております。

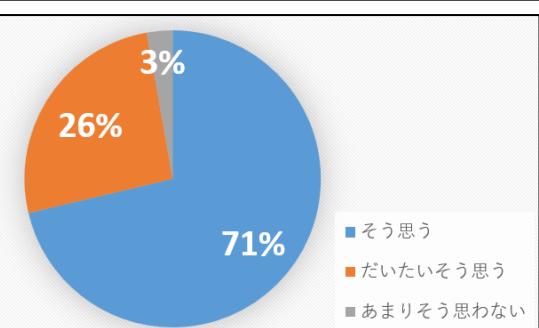
今後も教育アンケート結果をもとに、よりよい教育を目指していきたいと考えています。これからもアンケートにご協力よろしくお願いします。

I. 「確かな学力」の育成に向けて

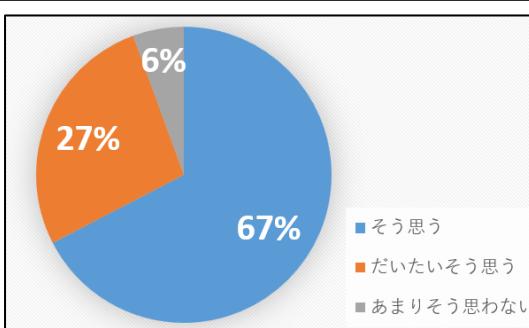
重点目標 学ぼうとする意欲や学びを友だちと共有する力を身につけさせ、学力向上につなげる。

児童

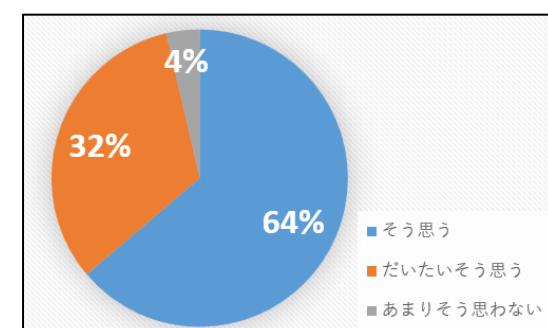
①「友達と力を合わせて楽しく学習していますか。」



②「学習の中で、自分が使える言葉が増えていますか。」



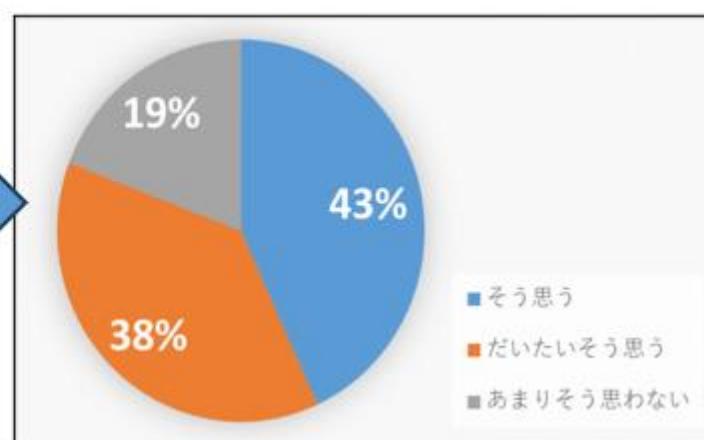
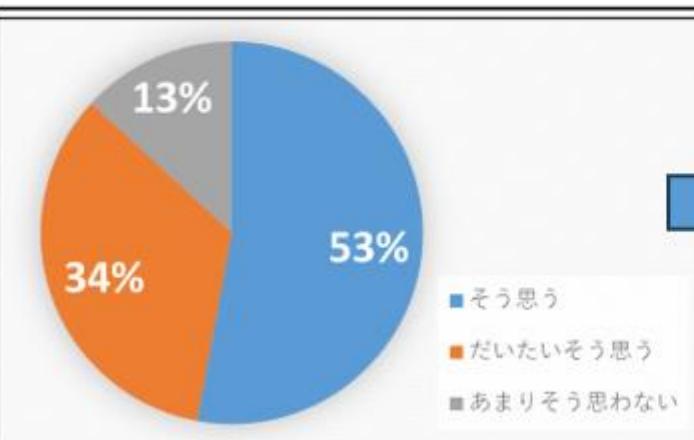
③「相手の話を最後まで聞くことができていますか。」



成果

後期も全体として、子どもたちは意欲的に学習に取り組んでいることがわかります。①の「友達と力を合わせて楽しく学習していますか」では、97%の児童が肯定的に答えています。GIGA端末を使って、友達と自分の考えを交流し合う学習を積み重ねてきたことで、自分の考えが伝わった喜びや友達の考えを聞いて新しい考えが生まれる楽しさなどを感じることができたからだと考えます。また、②の「学習や生活の中で自分が使える言葉が増えていますか」と、③の「相手の話を最後まで聞くことができていますか」については、94%、96%の児童が肯定的に答えています。これは、授業やことばみがきタイムなどで児童の語彙力を高める取組を続けてきたことや、友達と考え方を共有する活動に取り組んできたことの成果といえます。しかし、まだ自分の思いを言葉で十分に伝えることができていない児童もいます。今後も自分の思いを言葉で表現できるような働きかけを続けていきたいと思います。

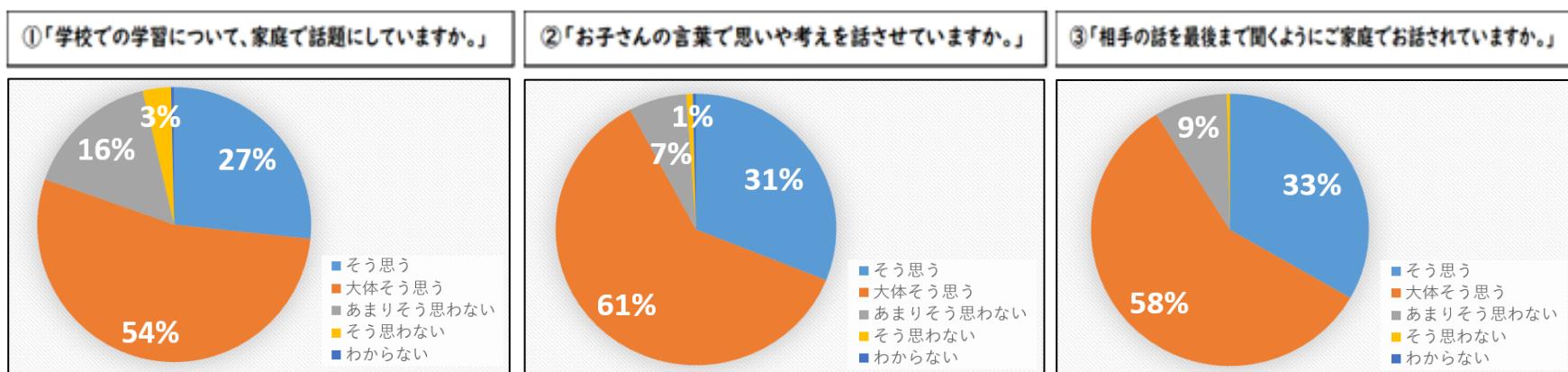
⑤「本を読んだり、図書資料を学習に使ったりしていますか。」



改善点

⑤の「本を読んだり、図書資料を学習に使ったりしていますか」については、「そう思う」の割合が前期に比べて10%減りました。学校図書館には、毎日多くの児童が訪れて読書に親しんでいます。本の貸出冊数も大きく変化はありません。また、学校の授業では、国語科の学習をはじめ、社会科や総合的な学習の時間など、図書資料を使う学習に取り組んでいます。一方で、タブレット端末を活用する時間の方が増えてきたこともあるため、児童の実感として自信をもって「図書資料を使っている」と言いにくい心理が働いているのではないかと考えます。タブレット端末と図書資料を両方使える児童を育てる中で、図書資料の活用の機会を意図してもてるようにする必要があるのではと考えます。

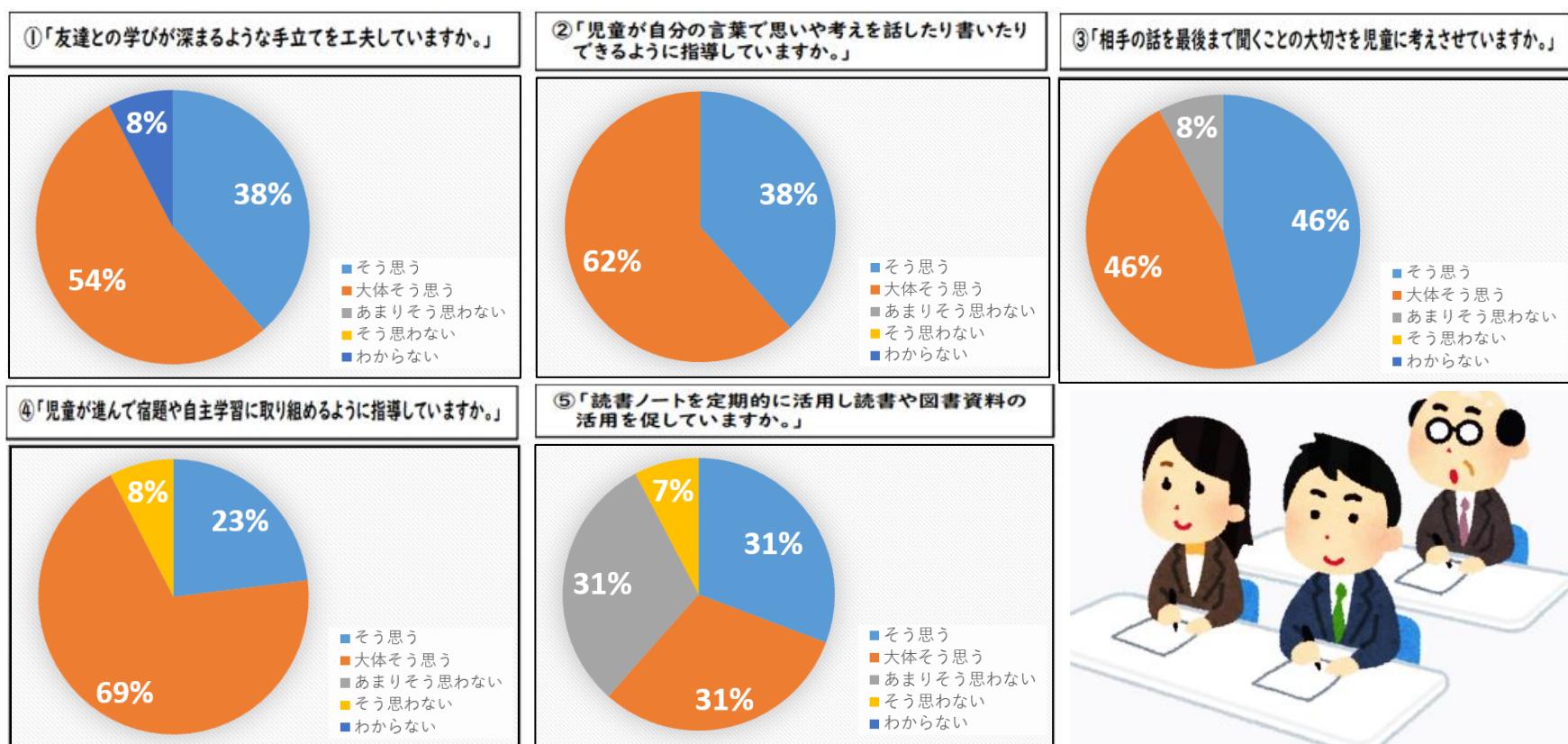
保護者



成果

後期も、多くの保護者の方々に、子どもたちの学習を見守っていただいていることがわかります。①の「学校での学習について家庭で話題にしていますか。」では、81%のご家庭が話題にさせていただいている。また、②の「お子さんの言葉で思いや考えを話させていますか。」では92%、③の「相手の話を最後まで聞くようにご家庭でお話されていますか。」についても91%のご家庭にご協力いただけていることがわかります。子どもたちにとっておうちの方々のお声かけは学習意欲を高める原動力と考えています。今後も学校と家庭の両輪で、子どもたちの学習を支えていければと思います。引き続きご協力のほどよろしくお願ひいたします。

教職員



成果

後期も、児童が意欲的に学習できるように取り組んでまいりました。①の「友達との学びが深まるような手立てを工夫していますか。」や④の「児童がすすんで宿題や自主学習に取り組めるように指導していますか。」については、今年度も、重点的に取り組んできました。「授業と家庭学習の連動」ということで、授業に意欲的に取り組めるようにするための準備としての家庭学習は、どのようなことができるかと考えてきました。今後も継続して、学習がより一層深まるあり方について、今後も研究を深めていきたいと考えます。

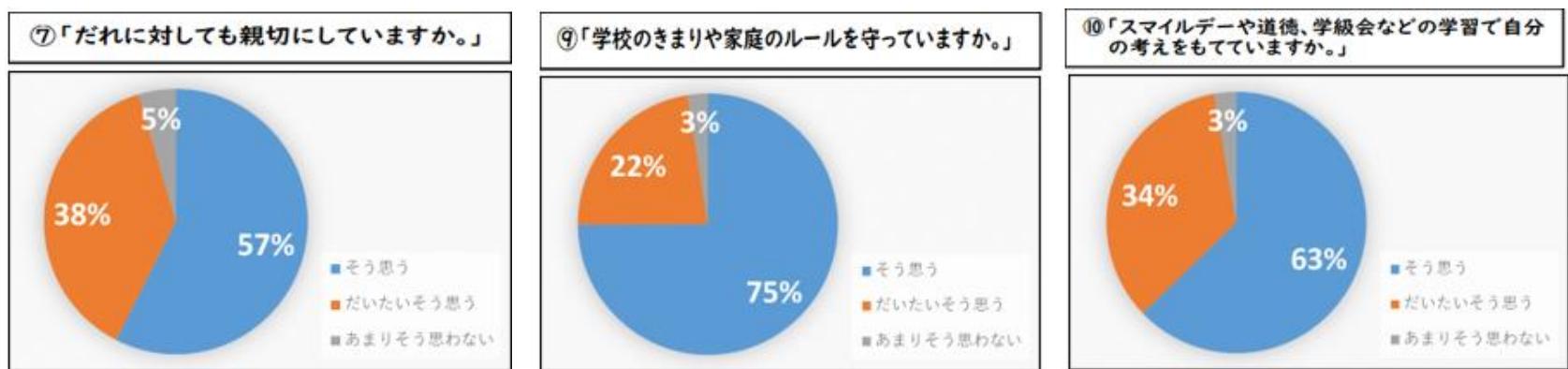
改善点

全ての項目についていえることですが、やはり1年間継続して意識を高くもって取り組むことが課題と言えます。教職員自身が十分に自信をもって「できた。」と思えないところがあらわれています。今後は、重点目標を設定し、とりわけその項目については意識的に学習を進めていきたいと考えます。教職員で研修をしたり実践を重ねたりすることで、改善を図っていきます。

2.「豊かな心」の育成に向けて

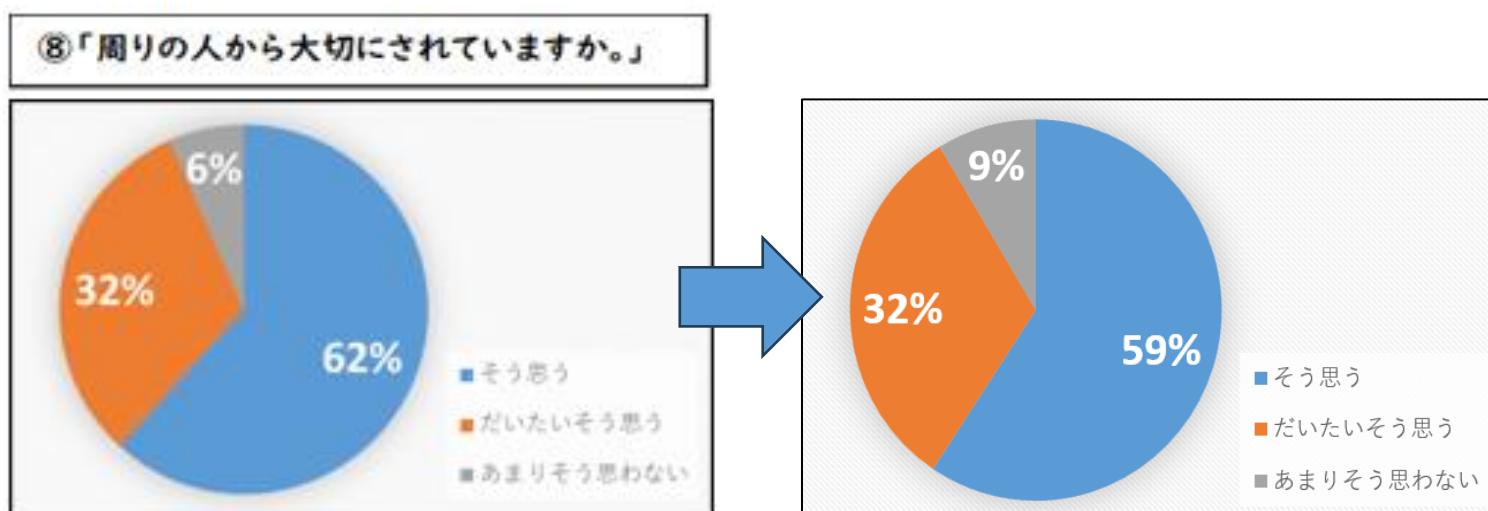
重点目標 規範意識の育成や道徳教育の充実を図り、支え合い高め合う集団をつくる。

児童



成果

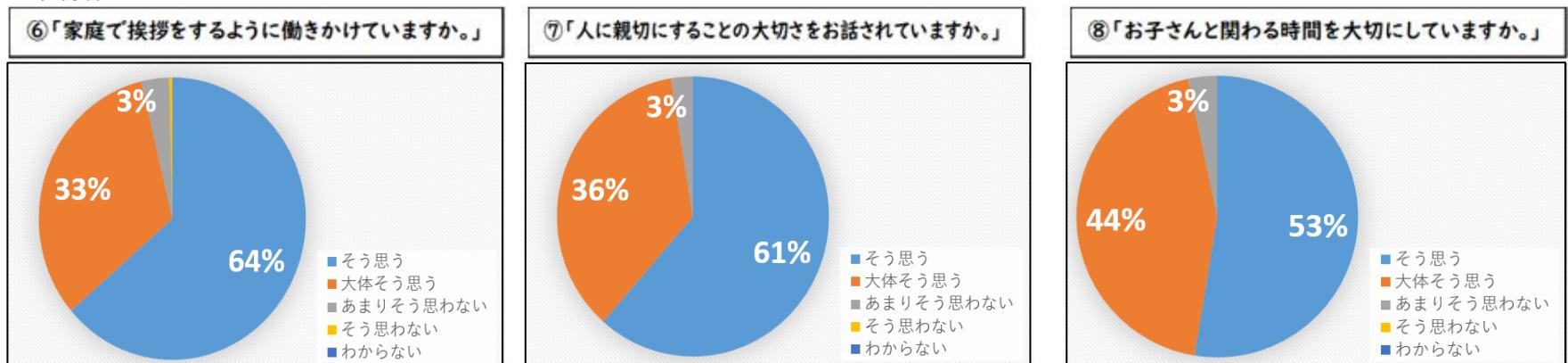
後期も相手を思いやる姿勢や児童の規範意識は高い結果となりました。子どもたちは、学校のきまりや家庭のルールを守らないといけないという意識をもち、日々生活をしていることがわかります。今後は、ただルールを守るだけでなく、なぜこのルールがあるのかということも理解した上で、だから守らなければならないのだということ自分たちで考えられるようになってほしいと思います。また、あいさつについては、地域の方々から、「宇多野小学校の子どもたちはしっかりと挨拶ができるようになった。」とお褒めの言葉をいただいている。これまでの地道な指導や児童会によるあいさつ運動、家庭での声かけなどが活きてきたのだと考えます。今後も続けていけるように声掛けを続けていきます。



改善点

⑧の「周りの人から大切にされていますか」という質問について、あまりそう思わないが3%増え、心配しています。子どもたちは日常生活の中でいろいろなことを経験しています。その中で自分の思い通りにならないこともあります。集団生活の中で悩みや困りをどう乗り越えていくか、どう折り合いをつけていくかということも大事な学びの1つです。子どもたちの困りや悩みに寄り添って一緒に考えていくたいと思います。友達と意見がぶつかることもあります。大人から指導されることもあるでしょう。そのことがあなたを大にしてないわけではないということを伝えていきます。

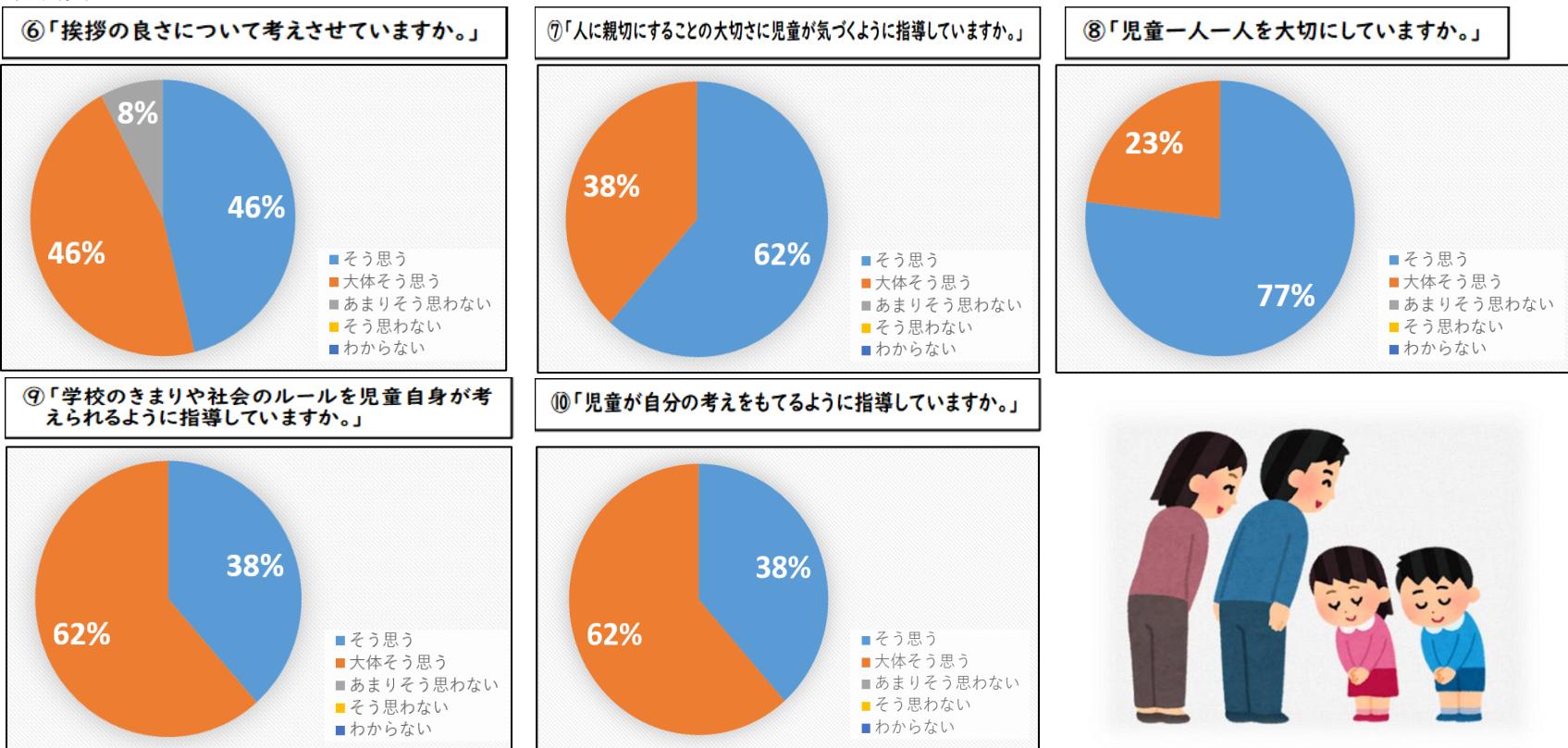
保護者



成果

保護者の方が生活の中で挨拶や思いやりの大切さを教えてくださっていることがうかがえます。挨拶をすることや人に親切にすることなど、社会生活を送る上で大切なことについて、おうちでもしっかりとお話をさせていただいていることに改めて感謝いたします。今後もお忙しい中ですが、お子さんのためにできるだけ時間をとり、家族との会話を大切にしていただきますようお願いします。

教職員



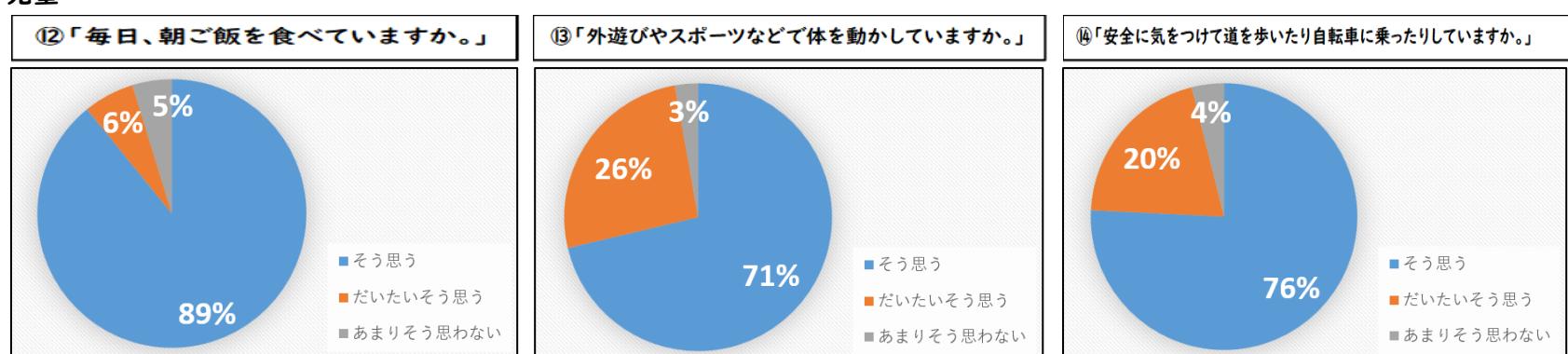
今後の課題

子どもたちに指導する立場である教職員がまず率先垂範して、子どもたちにあいさつすることの良さや人に親切にすることの大切さ、ルールを守る姿を見せていかなければと思いを新たにしたところです。子ども自身に「気づかせる」「考えさせる」指導ができるように、教職員自身も学んでいきたいと思います。また、子どもに役割や責任を持たせ、自分だけでなく周囲のために頑張ることができる児童を増やし、自己有用感を高める取組も意図的におこなっていきたいと考えています。

3. 「健やかな体」の育成に向けて

重点目標 運動の実践と体力の向上を図りながら、安全で健康的な生活を送る子を育成する。

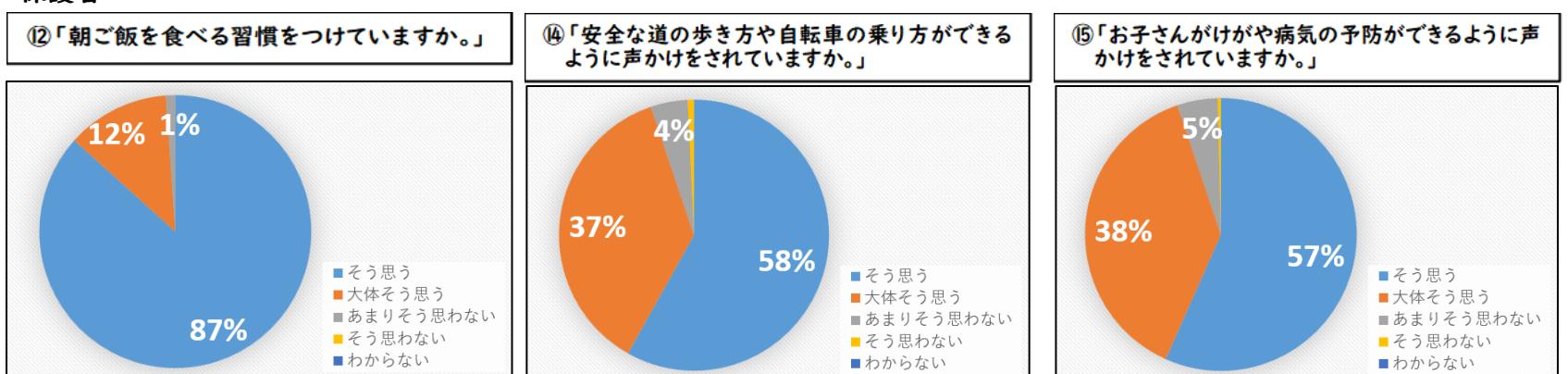
児童



成果

後期も、ほとんどの児童がきちんと朝ごはんを食べて登校し、健康的に生活できています。朝ごはんを食べることで、頭も体も調子がよくなり、活動できることは保健だよりや給食だよりなどで児童に指導しています。高学年になれば、家庭科の学習でも朝食を自分たちでつくれるように献立を考える学習もあります。そのようにして自分で自分の朝食を考えることができるようになることも大切です。また、⑭の安全に気をつけて道を歩いたり自転車にのったりしていることがあります。しかし、時々、危ない自転車の乗り方をしたり、道に広がって歩いたりしている姿を見聞きしたことがあります。引き続き、安全に気をつけて行動することを指導していきます。ご家庭でもお声かけ下さいますようにお願いします。

保護者

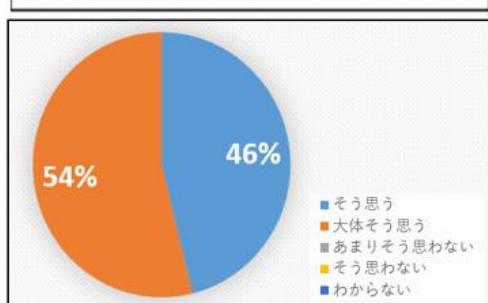


成果

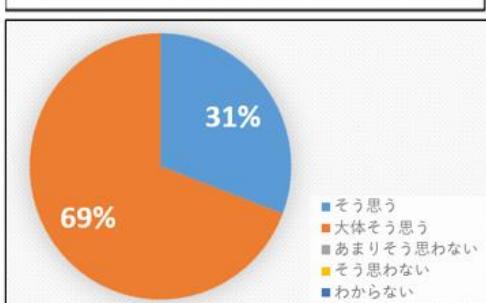
ほぼ全員の保護者の方々が、お子さんが健康的な生活を送ることができるように働きかけてくださっていることがうかがえます。子どもたちが安全で健やかに過ごすことができるよう、家庭で取り組んでいただき、ありがとうございます。学校と家庭とが連携して、子どもたちに働きかけていくことで、子どもたちも自分の生活は自分でよりよいものにしていこうとする意識が育っていくことを願っています。引き続きご協力のほどお願いいたします。

教職員

⑭「安全な登下校ができるように児童に考えさせていますか。」



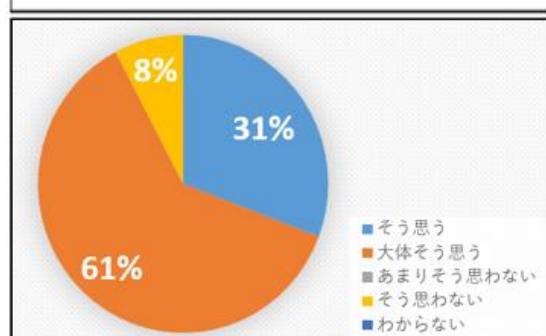
⑮「児童が自分でがんや病気の予防ができるように指導していますか。」



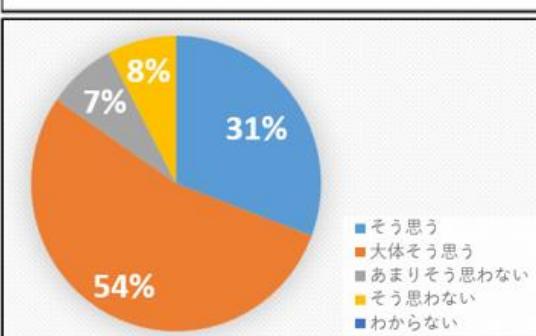
成果

教職員も、安全な登下校ができるように児童に考えさせることについては、安全ノートを使った指導や日々、話をしたり、通学路に立って指導したりするなど、いろいろな形で子どもたちに伝えています。また、児童が安全で健康的な生活を送ることができるように、学活や保健指導の中で働きかけています。児童同士で考えるために保健委員会でも取り組んでいます。

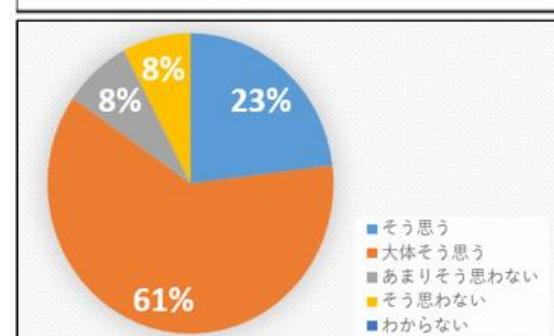
⑯「睡眠をしっかりと良さを児童に考えさせていますか。」



⑰「朝食をとる良さを児童に考えさせていますか。」



⑱「児童が楽しく体を動かせるように手立てを工夫していますか。」



改善点

後期は朝の登校指導をはじめ、安全な道の歩き方や安全な自転車の乗り方に重点を置いて指導をしてきました。その分、朝食や睡眠をしっかりと良さを考えさせることに課題が残る結果となりました。1年を通してよりよい生活習慣を身に着けられるように働きかけていく必要があると反省しております。ご家庭ともよりいっそう連携しながら取り組んでいきます。

<地域の皆様より>

- 「周りの人から大切にされていますか。」という項目で1年を通じて9割以上の児童が肯定的な回答をしていることは素晴らしいことだ。もちろん否定的な回答をしている児童のこともしっかり見ていく必要はあるが、総じて家庭と学校が一生懸命子どもを育てていると言えるのではないか。子どもたちの自己肯定感が高いことはいいことだ。
- 最近の子どもたちは習い事や塾などで忙しいと聞く。家族と一緒に食事を取る時間が取れているのだろうか。孤食ということが社会問題になっている今、食卓を囲んで一緒に食事をすることがより大切になってくるのではないか。しかし、宇多野の子どもたちは「周りの人から大切にされている。」と多くの児童が答えていている。食事以外の時間でも家族団欒の時間が確保されているからこそ、高い数値を示しているのだろう。今後も子どもの生活についてはしっかりと家庭で見ていってほしい。

アンケートのご協力ありがとうございました。

今後の宇多野小学校教育活動に生かしていきたいと思います。

どうぞよろしくお願ひします！